

デジタル教科書指導案／地理的分野

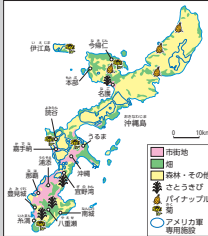
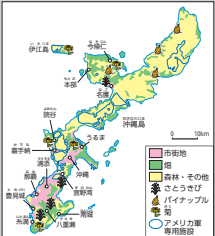
1. 題材 p.182-183 南西諸島の自然と人々の生活や産業
2. 目標
 - (1) 南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景を、自然環境の視点に着目し、考察できる。
 - (2) 沖縄独自の文化や沖縄が抱える課題について、位置や結び付きの視点に着目し、理解できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 南西諸島の島々の自然環境の特色を写真から読み取ることができる。
思考・判断・表現	・ 沖縄らしさがみられる生活や産業を挙げ、自然環境との関わりから特色を説明している。
主体的に学習に取り組む態度	・ 沖縄が抱える課題について、位置や結び付き、経済の観点に着目し、主体的に追究している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「沖縄の白いビーチ」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.182 1  p.173 6	○ 「青い海と白い砂浜が観光客に人気のビーチ」の写真を題材にし、気付いたことを発表させながら、本時への導入を図る。
	2. 沖縄では観光業が盛んな理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	沖縄のビーチはなぜ色が白いのだろうか。 沖縄の海では、なぜサンゴがみられるのだろうか。	○ 沖縄では観光業が盛んな理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：南西諸島の自然環境は、人々の生活・文化や歴史、産業とどのように関わっているのだろうか。			
展開	3. 南西諸島の自然環境と暮らしの関わりを考察する。	 p.182 2 マングローブは、どのような自然環境でみられる植物だろうか。  p.182 3 伝統的な家屋が石垣や樹木で囲まれているのはなぜだろうか。 資料から、南西諸島の気候の特色を挙げてみよう。	○ 南西諸島の自然環境の特色を写真から読み取らせる。 ○ 奄美大島や竹富島の位置を地図帳で確認させる。 ◆ マングローブは、熱帯や亜熱帯の汽水域でみられることと、伝統的な沖縄の家屋は、台風への対策がなされていることを理解させる。 ◆ 南西諸島は年間を通じて温暖で、台風の通り道になることが多いことを理解させる。 ○ 二次元コードコンテンツの「沖縄の家の工夫」も参考に視聴させる。

展 開	4. 沖縄の農業の特色を気候との関わりから考察する。 (1) さとうきび (2) 菊の栽培 5. 独自の伝統文化が育まれた背景と、それらを生かした観光が盛んな様子を理解する。 6. 沖縄が抱える課題を理解する。	  p.183 4 p.183 7 沖縄では、どのような農作物が栽培されているのだろうか。   p.183 5 「菊の栽培」 本来、菊が咲く季節はいつだろうか。  p.183 8 沖縄独自の文化は、どのように育まれたのだろうか。  p.183 7 沖縄はどのような課題を抱えているのだろうか。	○ 温暖な気候を生かして栽培されている農作物を調べさせる。 ◆ 冬でも暖かい気候を生かした農作物が栽培されていることを理解させる。 ○ パイナップル、さとうきび、菊の栽培地を確認させる。 ◆ 通常は秋に花が咲く菊を沖縄では冬に収穫していることに気付かせる。 ○ 沖縄の独自の文化が育まれた背景を考えさせる。 ◆ 沖縄の文化は、中国や東南アジアなどとの交易により形成されてきたことを理解させ、現在は観光資源の一つになっていることに気付かせる。 ○ 沖縄が抱えている問題について考えさせる。 ◆ 観光開発と自然保護の両立や、米軍の基地が多く存在していることなどの課題に気付かせる。
整 理	7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	沖縄らしさが見られる生活や産業を挙げ、どのような自然環境と関わりがあるのか説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 沖縄の伝統的な家屋は台風が多い気候に対応し、温暖な気候を生かしてさとうきびや菊の栽培をしていることを説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。
節の振り返り	8. 「節の問い」への振り返り活動を行う。	九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 この節で学んだことから、次の節の学習に生かせることを考えてみよう。	○ 「節の振り返り」へ記入させ、次節の学習へつながりを持たせる。